

地域おこし協力隊通信 特大号

丹波山村の17人の協力隊員

今号は現在活動している17人の隊員をご紹介します。
村民の一人として日々業務や活動に励む彼らの姿をご覧ください。



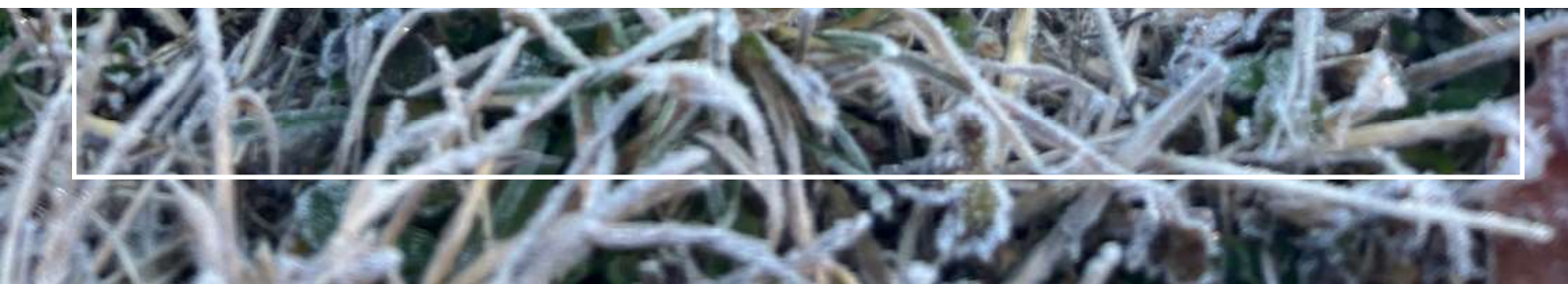
協力隊の活動はウェブでもご覧になれます。

「地域おこし協力隊通信」は丹波山村の公式ウェブサイト
で閲覧出来ます。協力隊員の活動内容からこれからの目標
など同じ協力隊員が取材、編集をしています。

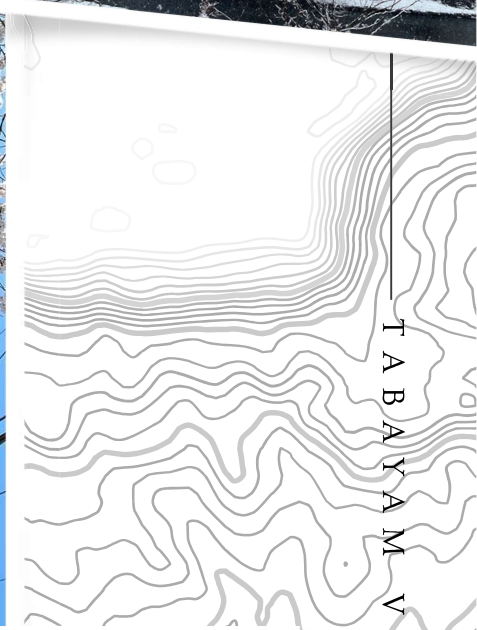
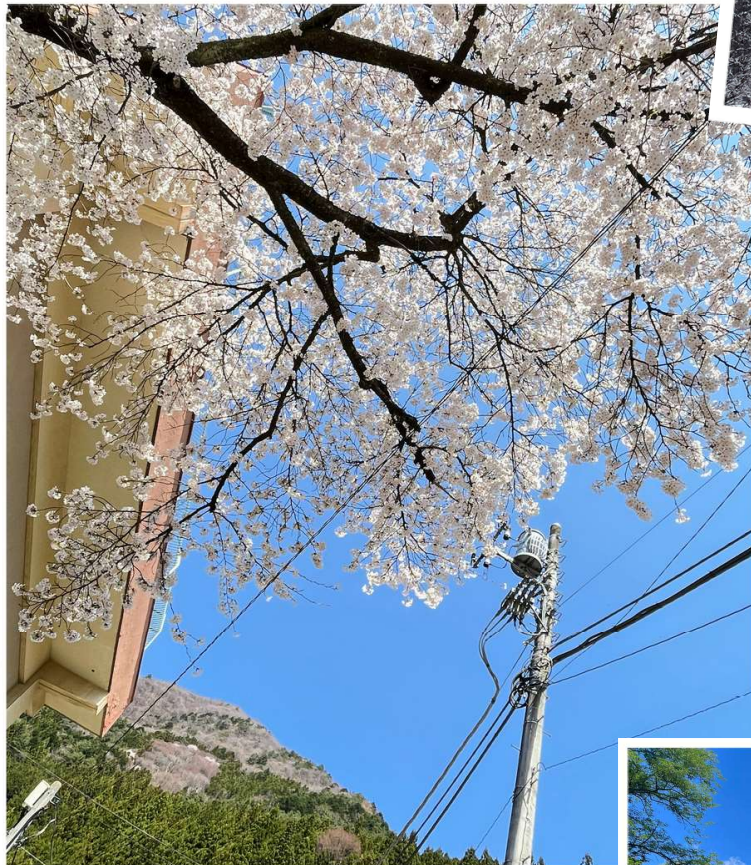
村内の皆様はもちろん、これから地域おこし協力隊として
活動を始めたいと考えている方の参考になれば幸いです。



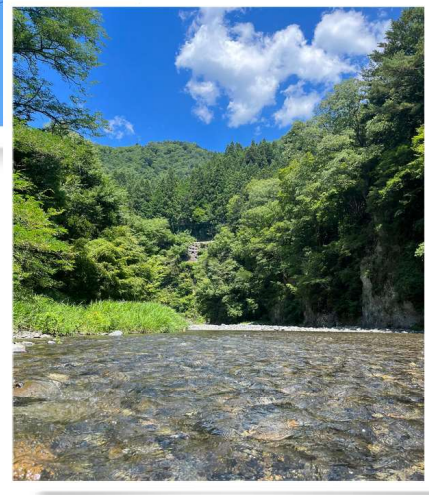
丹波山村
地域おこし協力隊



LIFE in TABAYAMA



TABAYAMA VILL.



三年目
清水 岳人
中正 正士
西山 寿恵
廣瀬 太一
宮地 功孝
樋口 雅紀
小林 寿彦
山崎 慶太
白川 裕

二年目
伊東 真由
鈴木 梨奈
前夷 久志
小林 かほみ
常山 正吾

一年目
初田 登
田代 健太郎
下村 佳恵



3年目の協力隊員

■ 山を駆け抜けた3年間

清水 岳人 SHIMIZU YAMATO



所属: 株式会社TreeLumber

令和5年度は林業をメインに活動を行い、MTBコースの整備、観光の手伝い、教育などに関わる事ができ、バラエティーに富んだ1年でした。林業では、1年を通し大体の仕事に関わる事ができ、自分のスキルを磨く事も出来ました。自分がやりたかった自転車関連の活動では、県の「やまなしサイクルツアーガイド」としての活動や、MTBコースの整備も出来ました。私は今年で協力隊を卒業します。あっという間に3年間で過ぎました。だいぶ、村に馴染めたと思います(笑) 3年間応援ありがとうございました!! 協力隊卒業後も丹波山村に残り、林業をしつつ協力隊中に行ってきた事を継続して仕事をしていきます!! これからもよろしくお願いします。そして村民4年目を頑張ります!! まだまだ分からない事だらけなのでこれからもご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

■ 子どもたちの笑顔を大切に

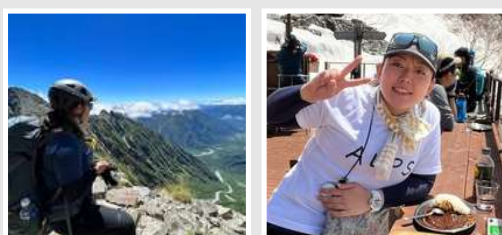
中平 正士 NAKAHIRA MASASHI



所属: 丹波山村移住定住推進協議会

令和5年度は所属する「丹波山村移住定住推進協議会」で、主に移住促進活動を行いました。移住促進サイト「たばやまで暮らそう!」の制作・運営、親子山村留学の広報PR、見学会など受け入れに関わる業務、移住定住相談窓口「たばやま暮らし相談室」として移住検討者からの相談対応などです。

今年3月の協力隊卒業後も「丹波山村移住定住推進協議会」に所属し、移住促進サイトの運営や移住定住相談窓口を担当させていただきます。また、「TABAYAMA KNOCKS」の活動に力を入れ、中身の充実した移住となるように取り組んでいきたいと考えています。そして、その活動を広く村外にPRすることで、さらに移住促進につながるような好循環を作りたいと思っています。



所属:一般社団法人タバヤマベース

■ 協力隊の元気印

西山 寿恵 NISHIYAMA HISAE

今年度は、協力隊最終年度という事で、興味のある事は色々と挑戦させてもらいました。丹波っこくらぶ・丹波山村保育所では、丹波山村の元気な子供達と触れ合いながら、安心して安全に過ごせるようサポートをしてきました。

買い物支援では、出張販売『たばやまデパート』『村民タクシー ちょい乗り体験』の企画が生まれ、盛況のうちに開催する事ができました。また、趣味の山歩きを活かして、登山動画の撮影を行ったり、イベントのお手伝いをしたりしてきました。

卒業後も丹波山村での生活は続きます。今までの関わりを大事にしながら、地域の中で楽しく過ごしたいと思います。

■ 村のインフラを支えてきました！

廣瀬 太一 HIROSE TAICHI

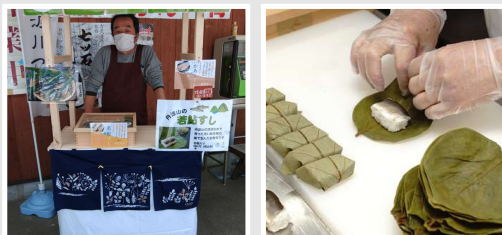
私はカ子謙合同会社に所属し、村のゴミの収集やのめこい温泉で使う薪の作製、民家の水道管理、村道の清掃など、様々な環境への配慮と地域経済の発展を同時に実現する取り組みを実施してきました。

地域のインフラを支える、あまり表にはでない活動でしたが、丹波山村の村民の一人として住みやすく、持続可能な環境整備活動に携われたことを誇りに思っています。

来年度の活動に関しては、3月に協力隊を卒業しますが、これまでの経験を生かした活動を続けていきたいと考えています。支えてくださった村民の皆様と職場の皆様にご心から感謝しております。本当にありがとうございました！



所属:カ子謙合同会社



所属:一般社団法人たばやま観光推進機構

■ 丹波の名産 鮎にかけた情熱

宮地 功孝 MIYAJI NORITAKA

今年度は、協力隊最終年度として、若鮎すしの販売数を出来るだけ増やし、工数の掛からない商品の開発と発売を目標に取り組みました。

若鮎すしは、道の駅で宣伝を始めた効果などもあり、昨年比で4倍程の販売増を達成しました。また、繁忙期には、工数的に若鮎すしの生産が、限界まで達していたので、外部に生産委託して自前の工数がなくても作れる新たな商品として炊き込みご飯の素（”鮎めしの素”）を開発し、秋から販売を始めました。

若鮎すしの大幅な販売増、新商品の導入で前年を大きく越える売上を得ることができました。

丹波山での3年間は今思えば、歳のせいでしょうか、あっという間に思われます。私は家庭の事情もあり3月末の卒業を以って厚木市に戻ることになりました。ですが、これからも丹波山との縁は持ち続けたいと思っています。これまでお世話になった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

■ マルチワーカーとして活動を継続

樋口 雅紀 HIGUCHI MASAKI

地域おこし協力隊の樋口です！令和3年9月から丹波山村に来て2年半が経ちました。パラレルワーカーとして、社協や放課後こども教室「丹波っこくらぶ」に関わりながら令和5年度はIT講師の勉強を始めました。令和6年4月から6月は都会の方で富士通ラーニングメディアの講師として新入社員に対して講師として登壇をする予定です。

丹波山村に来て体重が13kgも増えました。実家に帰ると親からは「デカくなったね」と私の二重アゴと膨らんだお腹を見ながら言われました。最近はサボっていた筋トレを再開して少し減りましたが...令和6年8月に卒業予定となります。卒業後は社協とITの2足の草鞋で働いていきます。丹波山村の皆さんにはご迷惑をかけてしまうことも多いと思いますが、どうぞこれからも樋口をよろしく願いいたします。



所属:丹波山村社会福祉協議会



所属:一般社団法人たばやま観光推進機構

■ 古家を修繕し次に繋げたい

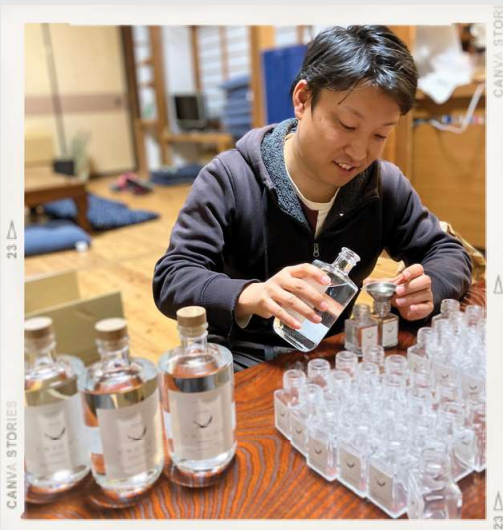
小林 寿彦

KOBAYASHI TOSHIHIKO

令和5年度も鮎事業関連の業務のサポートを行ってきました。製造と販売促進に力を入れてきた若鮎すしや鮎めしの素が昨年度に比べ大きく売上を伸ばすことが出来ました。

ただ、来年度以降、宮地さんの卒業、その半年後には私も卒業するので、鮎事業の継続が心配です。3月に現在の家に引っ越し、自分で出来る範囲の補修を行いました。将来的には、いろいろな人たちが集まれる場所として、飲食店や学習施設など多目的な活用ができる場所にしたいと思っていましたが、諸般の事情により断念いたしました。私以外の方が有効利用していただけたら良いと思っています。

来期は半年で任期満了となりますので、引き続き鮎事業を遂行しながら、卒業後の生活の準備をしています。



所属:株式会社丹波山倶楽部

■ 丹波の舞茸の魅力をお酒にして世界へ

山崎 慶太

YAMAZAKI KEITA

令和5年度は丹波山倶楽部の乾燥舞茸を原料とし、大きく2種類のクラフトジンの完成にこぎつけました。1つは伝統的なジンを構成する要素にバランスよく舞茸をマッチさせたもの、もう一方は日本酒ベースのジンになり吟醸香もしっかりと感じられるもので、特に普段日本酒を飲む人からすると飲みやすさを感じるはずです。どちらも舞茸の香りがきれいにできていて、原木舞茸を感じてもらえるのではないのでしょうか。

その後は販売のための酒販免許の取得や、舞茸祭等でのジンが飲める場の開催、パンフレット作成、展示会への出展などに注力してきました。令和6年度は本格的な販売に加え、次の舞茸ジン開発も始めています。現在はこれまでの知見を活かし開発テスト等を行っています。村民の方々向けにジンが飲めるイベントも今後開催していきますので、ご都合が合えば是非ご参加ください。

■ 街道を照らすあかりの笑顔

白川 裕史 SHIRAKAWA YUJI



所属: 一般社団法人丹波山口ケッツ

今年度も灯里の業務全般を行ってきました。村民の皆さんはもちろん、丹波山村に遊びに来た人たちにもリーズナブルな価格で美味しい食事を提供しています。

丹波山らしい料理が提供できるよう味噌作りや、食材を作る畑仕事も行いました。また、来店客の対応だけでなく、調理やお弁当の配達もしています。昨年の夏から夕食の惣菜になるメニューを配達するサービスを始めご高評いただいております。

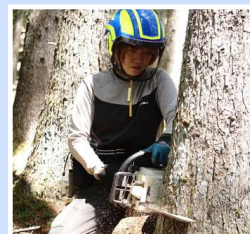
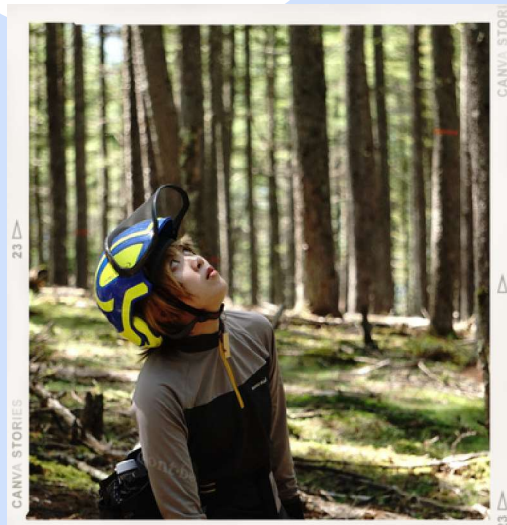
灯里での活動を通してテレビや雑誌の取材に応じ、丹波山村のPRも続けてきました。多くの人たちに村の魅力を発信しています。

来年度で協力隊を卒業するので、これからも灯里にて皆様に喜んでいただけるようなメニュー作りや新しい試みをおこないつつ、定住に向けての準備をすすめてまいります。

2年目の協力隊員

■ 林業に転身！定住に向けて地域活動にも貢献

伊東 真由 ITO MAYU



所属: 株式会社TreeLumber

今年度はツリーランバーに移籍し、林業の基礎を諸先輩方から学びながら技術の向上と安全管理に努めてきました。最初は、馴れない作業に苦労することもありましたが、日々少しずつ成長出来ていると思います。

また、文化財保存会に入り、獅子舞でのささらや、お松曳きでの篠笛など村の伝統文化継承にも力を入れています。

勉強していた森林インストラクター資格に合格したので、今後は、丹波山村の自然を更に理解し、訪れる人達にその魅力を体験して欲しいと思っています。春で3年目となりますが、ここでの暮らしを楽しんでいこうと思っています。



所属:アルケミスト

■ おにぎりで笑顔を届けた一年

鈴木 梨奈 SUZUKI RINA

アルケミストに所属し、オオカミ印の里山ごはんのスタッフ、加工品製造、食育授業、在来種じゃがいも・原木舞茸の栽培と盆踊りへの出店と...様々な経験をさせていただきました。そして、7月より「オオカミ印の発酵食堂」キッチンカーで、鴨沢と役場前にて、朝ごはん（おにぎり、お味噌汁）の販売を約4ヶ月間営業しました。様々なご意見、応援のお言葉、とても励みになりました。ありがとうございました！

また、文化財保存会に入り丹波山村伝統行事の祇園祭・御松曳に参加させてもらいました。祇園祭ではささら役も。とても嬉しい経験です。

残り1年間！今年度に取り組んだこと+αを目指して、病気せず、元気に活動します！

プライベートでは、1年目2年目と作物をちょっと収穫した後、枯らしてしまっただけで、枯らさず育てたいです。（家庭菜園ですが...笑）



所属:かどや旅館

■ あのグルメ番組のプロデューサーが丹波山を映す

前夷 久志 MAEIBISU HISASHI

旅館業に興味を持ち、丹波山村の地域おこし協力隊になりました。昨年よりかどや旅館さんで旅館業務のお手伝いをしながら、元テレビプロデューサーとして村のPR映像の編集をしています。今年もかどや旅館の仕事を主としながら、昨秋から山登りを趣味とする隊員たちと一緒に始めた、周辺の山々の魅力を紹介する配信用動画制作に注力したいと思います。

また当初から活動テーマに掲げている「丹波山村の名物づくり」を今年こそは完成させ、村内で行われるお祭りやイベント会場、道の駅などでの販売を目指します。試作段階では多くの方々にご意見ご感想を求めたいと考えていますのでみなさま是非ご協力くださいますようお願い致します。



所属:甲武キャンプ村

■ 出来ることを丁寧に取り組んできました！

小林 かほみ KOBAYASHI KAHOMI

R5年度は甲武キャンプ村1本に絞り活動しました。場内整備やお客様対応などを主に行い、キャンプ村に遊びに来られるお客様が安全で快適に過ごすために！を目標に取り組みました。年末には来シーズンのため水道管入れ替え工事もあり、シーズンオフ中の準備（木の伐採、畳の入れ替えなど）、先を見据えた運営や采配を目の前で見ることができ勉強になりました。

R6年4月で協力隊任期も残り1年4ヶ月になります。丹波山村に来る前の勤務経験（福祉分野）を最大限いかすため、キャンプ村、保育所の活動以外に、ホームヘルパーなどの資格取得の勉強も行っています。そして多くの村民の皆さんと関わり、困りごとのお手伝い！をしたいと思っています。気軽に「こぼっちゃん」と声をかけてくださると嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。



所属:奥秋テント村

■ 丹波山の魅力を走って探しています

常山 正吾 TSUNEYAMA SHOGO

奥秋テント村の運営協力をしています。キャンプ場の清掃からネットを利用した予約対応、顧客データの管理、分析など業務は様々です。ソロキャンパーの聖地として愛されるこのキャンプ場を今と変わらぬ姿と雰囲気を持続できるよう努めています。昨年度は丹波山周辺の山々を視察し、今後取得を目指す資格[自然ガイド]を活かす計画を立てています。

従来の業務を継続しつつ、奥秋テント村に訪れる登山やトレッキングをご希望のお客さまに、丹波山村や奥多摩周辺の山々をご案内し、丹波山村の自然をより深く楽しんでいただきたいと思います。そのためにも将来を見据え、自然ガイドの資格を取得し、自分自身のスキルアップに努めたいと思います。趣味は野山を駆け抜けるトレイルランニング。村内と周辺をいつも走っているので見かけたらお声がけください。

1年目の協力隊員



所属: 丹波山村移住定住推進協議会

リアルな移住体験で丹波山村をPR 初田 登 HATSUTA NOBORU

家族3人で丹波山村に移住しました。きっかけは子どもの山村留学でしたが、この村で暮らし、自分がしたいことに挑戦した一年でした。考えてみれば、人生初の試みです。

D.I.Yをしたり、畑を世話したり、狩猟をしたり、村の子どもたちと関わる時間を増やしたり、新しい生活を家族3人で開拓してきました。

私は丹波山村を自宅と呼び、山村の生活を心から楽しんでいきます。挑戦と努力の日々を通じて、新たなコミュニティでの楽しみを見つけ、田舎暮らしの魅力に満ちた生活を築いてきたつもりです。

来年度もフリーライターの仕事をしながら移住希望者向けに丹波山村のPR活動や他の協力隊の活動に協力していきます。自分で体験したこと、感じたことを参考に、この村に移住したいと思う人が増えれば嬉しいですし、そうなるよう努めてまいります。

プロの登山ガイドを目指す保育士 田代 健太郎 TASHIRO KENTARO

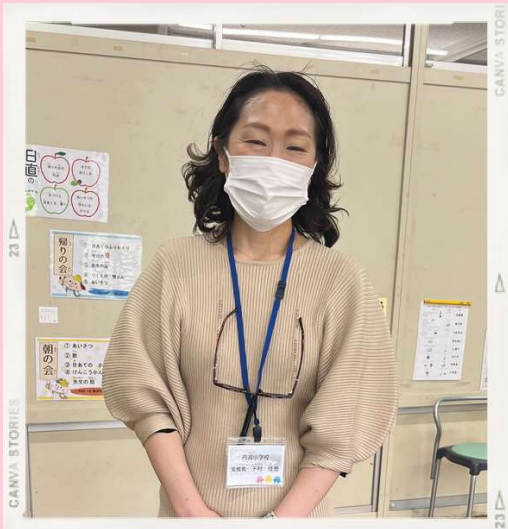
温泉のある山小屋 三条の湯と保育所で活動しています。協力隊に入る前は、保育士として都内や横浜で働いていました。趣味である登山を楽しむなかで登山ガイドを目指したいと思うようになりました。

昨年は三条の湯での業務をしながら登山ガイドステージ1の試験に挑み合格することができました。山小屋での仕事なので村内にいる時間はあまりありませんでしたが、今年から保育所で保育士として活動を始めました。

4月で2年目になります。昨年から続けている丹波山村周辺の山々を紹介するPRビデオの作成を手伝いながらプロの登山ガイドとしての経験とスキルを磨いていきます。また、保育士として子どもたちが心から楽しく健やかに成長できるお手伝いをしていきます。行事や地域活動にはなかなか参加出来ませんが、これからも村民の一人として頑張っていきます！



所属: 有限会社丹波山観光



子どもに寄り添う村での日々

下村 佳恵 SHIMOMURA KAE

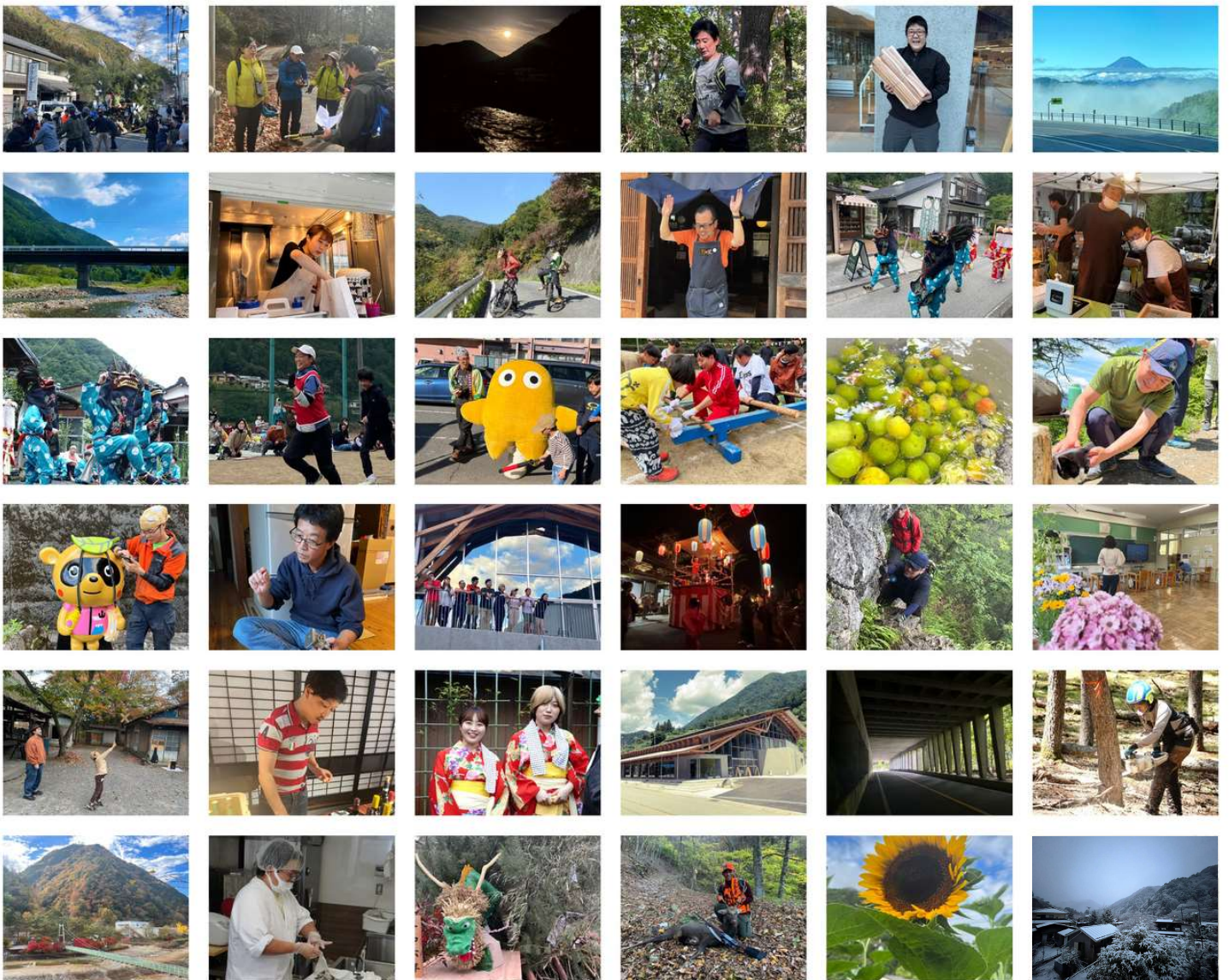
令和5年度は、丹波小学校の2年生と3年生の学習補助員として務めてまいりました。少人数の学校なので一人ひとりとしっかり向き合える素晴らしい環境だと実感いたしました。丹波山村でのこのお仕事は、いかに子供のペースに合わせた支援をしてゆけるか！をモットーに日々切磋琢磨してまいりました。

来年度も子供達に最善を尽くし寄り添い活動をしてまいりたいと思います。

これからも丹波山で過ごす子供たちと楽しい時間を沢山つくっていただけたいな、と思っております。



所属:丹波小学校



わたしたちの村の #地域おこし協力隊



地域おこし協力隊制度は、総務省の地方創生施策の一つとして平成21年に始まりました。丹波山村では平成26年に第1期生を迎え入れ、以来10年で40人を超える隊員を採用してきました(※)。年齢や前職、出身地も異なるメンバーですが、力を合わせながら、村の振興や暮らしやすい村づくりのために活動しています。 ※地域おこし協力隊インターンを含む。

総務省では、現在6,000人を超える全国の地域おこし協力隊員を、1万人まで増やすという目標を掲げています。膨大な数の求人の中から、縁あって丹波山村に地域おこし協力隊として着任してくれた隊員の皆さん、そして、隊員の日々の活動や生活を支えていただいている地域の皆さんに感謝しています。

人口約500人という小さな村だからこそ、現役の地域おこし協力隊員同士、OB・OG、地域の皆さん、行政と、顔が見える関係を築きやすいのが、丹波山村の強みだと考えています。この「地域おこし協力隊通信」を通じて、地域おこし協力隊についてさらに理解を深めていただければ幸いです。

これからも丹波山村地域おこし協力隊をよろしくお願いします。

令和6年3月 丹波山村地方創生推進室

編集：初田 登